

重点推進施策 1

地域で支えあうまちづくり

子育て家庭や高齢者、障害のある方の支援と、区民の健康づくりなどに地域と協力して取り組み、子どもから高齢者まで、誰もがいつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます。

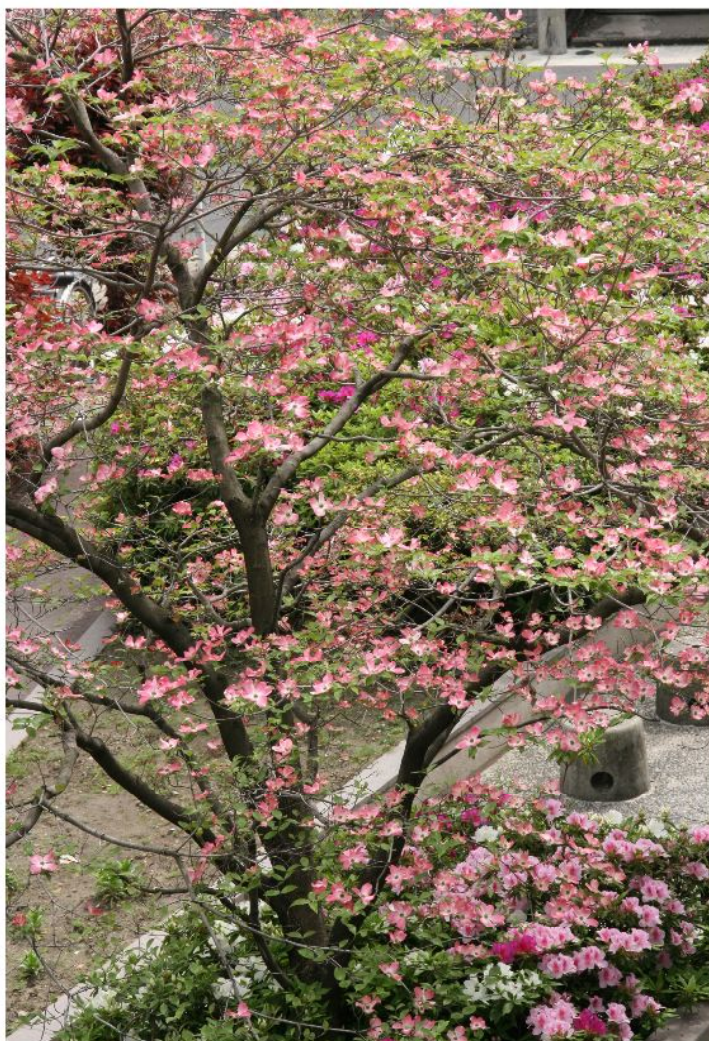
また、学区連絡協議会や区政協力委員会など関係団体と一体となって防犯活動や交通安全活動、防災活動を推進し、安全で安心して暮らせるまちづくりをすすめます。

区の木 ハナミズキ

秋にはあざやかに紅葉し、だ円形の果実が深紅色に熟する美しい落葉中高木です。北アメリカ原産で、アメリカヤマボウシの別名があります。

P 6 1 - I 子どもから高齢者まで
誰もが健康でいきいきと暮らせる
まちづくりをすすめます

P 14 1 - II 安全で安心して暮ら
せるまちづくりをすすめます



千種区役所 東側花壇のハナミズキ

1 - I 子どもから高齢者まで、誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

全国的に少子高齢化が進む中、千種区においては年少人口、高齢者人口ともに増加しつつあります。また、1世帯あたりの人員が減少を続けるなど、核家族化も進んでおり、地域における住民同士の絆も薄れつつあるため、子育て家庭や高齢者、障害のある方を皆で支えることが重要です。

1 子育て家庭を応援します。

(1) エンゼル訪問(赤ちゃん訪問)※

目標：100%訪問(22年度746件中735件訪問98.5%)

主任児童委員などの協力を得ながら、生後3か月から6か月の第一子の赤ちゃんのいる家庭に加え、市外から千種区へ転入した生後6か月から1歳未満の第一子の赤ちゃんのいる家庭に対しても、千種区独自に訪問を実施します。また、訪問にあわせて、「千種区子育て支援情報がいど」※を配布し、子育てへの不安の軽減につなげます。

(民生子ども課 753-1873)



エンゼル訪問の様子

※「エンゼル訪問（赤ちゃん訪問）」とは？

平成9年に千種区が市内で初めて実施した、子育てに関する相談や情報提供を行う子育て支援事業です。



千種区子育て支援情報がいど

※「千種区子育て支援情報がいど」とは？

区内の保育園、幼稚園とその子育て支援情報及び学区主催の子育てサロンの情報などを掲載しています。

<http://www.city.nagoya.jp/ku/chikusa> [千種区](#)> [千種区の暮らしの情報](#)>

[地域の子育て情報](#)> [子育てネットワークちくさ](#) (外部リンク)

[子育てネットワークちくさ](#)> [map 拡大](#)

(2) 子育てサロン※

目標：引き続き全15学区で実施

地域が行っている「子育てサロン」の充実、拡大を支援します。

(民生子ども課 753-1873)



子育てサロンの様子

※「子育てサロン」とは？

地域において、子育て家庭を対象に、育児相談やお互いの交流を図る事業です。

(3) 子育て広場※

目標：年7回開催（22年度6回開催）

子育て家庭が気軽に集い、交流する「子育て広場」を実施します。

(民生子ども課 753-1873)



子育て広場の様子

※「子育て広場」とは？

区内全学区の子育て家庭を対象に、保育士によるふれあい遊びや子育て教室など、親子の交流の場を提供する事業です。

(4) 健診時の本の読み聞かせ

目標：年26回の3歳児健診で引き続き実施

千種図書館と協力し、3歳児健診時などに、ボランティアによる本の読み聞かせを行います。

(保健予防課 753-1975)



健診時の本の読み聞かせの様子

(5) **ちくさふれあい1/2成人式**※

目標：7校で実施（22年度6校で実施）

児童委員や子育て中の親子などの協力を得て、小学校で実施する「ちくさふれあい1/2（にぶんのいち）成人式」を拡大・充実させます。
 （保健予防課 753-1984）



ちくさふれあい 1/2 成人式の様子

※「ちくさふれあい1/2（にぶんのいち）成人式」とは？
 小学校高学年（20歳の半分相当にあたる10歳）の児童が、地域の乳児とふれあい、その乳児の母親の体験を聞くことにより命の大切さを学びます。
 また、子育て中の母親の交流を深め、子育てに関する情報交換や不安の軽減も図ることを目的とした事業です。

(6) **児童虐待の防止**

子育て中の親が孤立することがないように育児相談や交流事業を行うとともに、児童虐待の防止に向けた広報、啓発を行います。また、関係機関（児童相談所、主任児童委員、学校、保育園等）と情報を共有しながら必要に応じて援助方針を定め、迅速に対応します。

（民生子ども課 753-1873）
 （保健予防課 753-1984）

●子どもを虐待から守るための5ヶ条

- | | |
|--------------------|------------------|
| ① 「おかしい」と感じたら迷わず連絡 | 〈通告してください〉 |
| ② 「しつけのつもり…」は言い訳 | 〈子どもの立場で判断〉 |
| ③ ひとりで抱え込まない | 〈あなたにできることから即実行〉 |
| ④ 親の立場より子どもの立場 | 〈子どもの命が最優先〉 |
| ⑤ 虐待はあなたの周りでも起こりうる | 〈特別なことではない〉 |

（出典：文部科学省「家庭教育手帳」）



子ども虐待防止
 オレンジリボン運動



2 高齢者の健康と生活を応援します。

(1) 高齢者の健康支援

目標：自分が健康であると感じている方の割合85%以上（22年度83%）

寝たきり状態や認知症を予防するため、地域の協力を得て、「地域介護予防教室」や「地域住民グループ支援事業」などを実施し、高齢者が元気でいきいきとした生活ができるよう支援します。
（保健予防課 753-1984）



地域介護予防教室

(2) 高齢者見守り地域支援ネットワーク※

高齢者の孤立死を防ぐため、民生委員、自治会役員、近隣協力者などで「高齢者見守り地域支援ネットワーク」の組織づくりをすすめるとともに、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の実態調査を行い、見守り支援をすすめます。
（福祉課 753-1834）
（社会福祉協議会 763-1531）



※「高齢者見守り地域支援ネットワーク」とは？
 地域で声かけや見守りを行う中で、高齢者の孤立死防止を図るしくみです。



(3) 認知症高齢者とその家族の支援

目標：市民講座・研修会（毎月）、シンポジウムの開催、DVD上映会12回
 （22年度市民講座・研修会（毎月）、シンポジウム1回、DVD上映会9回）
 「千種区認知症地域連携の会[※]」を中心に医療、介護、保健、福祉の連携のもと、認知症の正しい知識をわかりやすく普及するとともに、認知症高齢者とその家族を支援します。
 また、認知症啓発DVDの貸し出しや地域へ出向いた上映会を実施します。

（福祉課 753-1834）

（社会福祉協議会 763-1531）



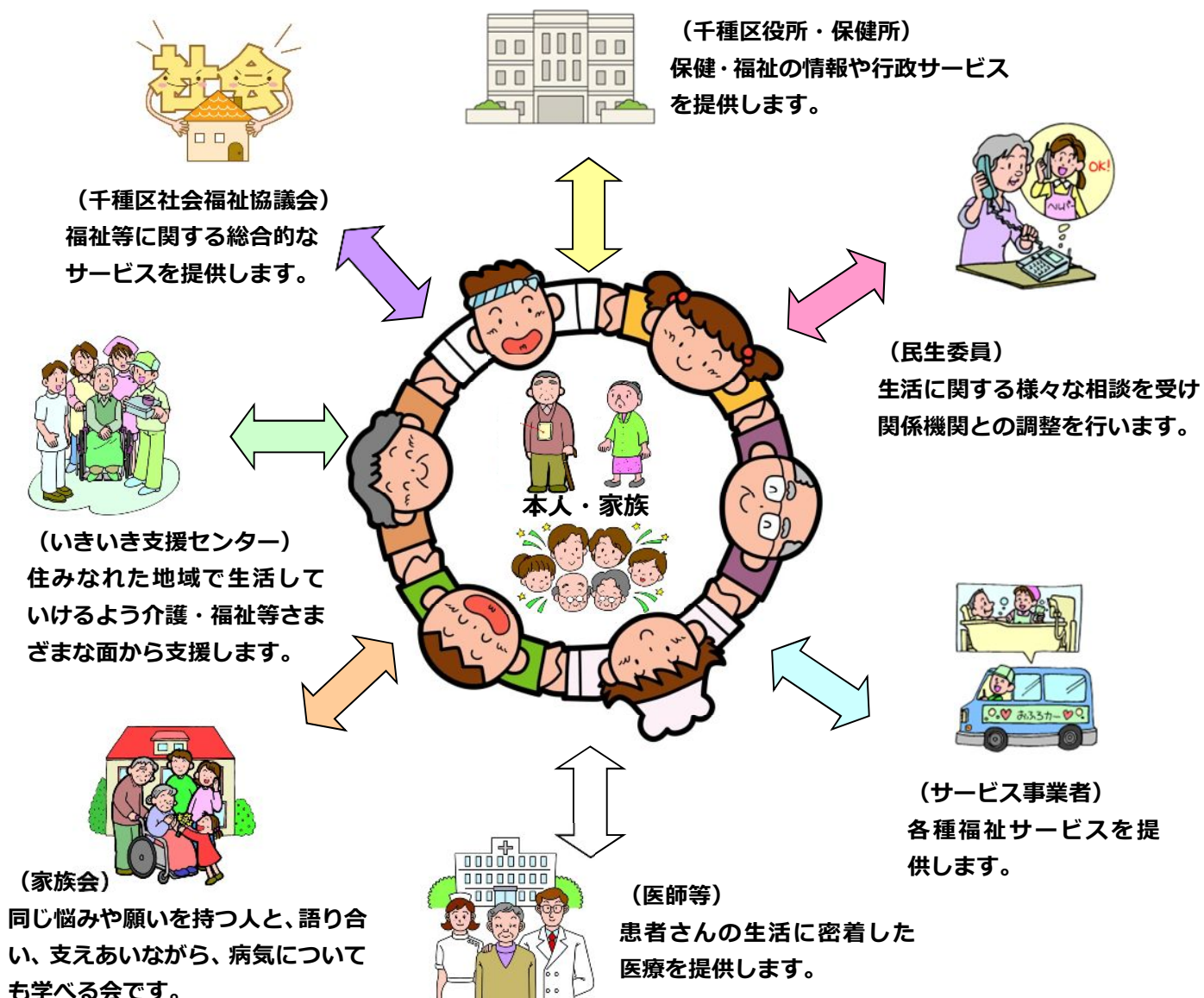
認知症市民シンポジウム

※「千種区認知症地域連携の会」とは？

住民と保健・医療・福祉関係者・行政の連携により、認知症高齢者とその家族を地域で支える仕組みを創り出すことを目的に設置され、家族や住民に対する認知症についての正しい知識と理解の啓発や認知症予防活動などを実施しています。

なお、この会は、平成 16 年度に発足し、その活動は全国的にも先進的な取り組みとして注目されています。

認知症の方やその家族を支援するしくみ



(4) 回想法※による介護予防と認知症防止

目標：懐かしの映画会(1回)、回想法市民講座(1回)、回想法講演会(1回)、名古屋市都福社会館北部回想法センター（都福社会館）案内チラシの作成(1万枚)・配布

名古屋市都福社会館北部回想法センターと連携し、回想法を通して介護予防と認知症防止を図り、高齢者がいきいきとした生活が送れるよう支援します。 (福祉課 753-1834)



名古屋市都福社会館
北部回想法センター

※「回想法」とは？

昔のことに思いを巡らし、話をする事で脳が活性化され、よりいきいきとした生活が送れるほか、仲間作りに大きな効果が期待される心理療法です。

(5) なごやか収集※

空きびん・空き缶などの資源やごみを所定の場所まで持ち出すことが困難な、一定の要件を満たした高齢者や障害のある方の一人暮らし世帯に対する排出支援を行います。

(環境事業所 771-0424)



※ なごやか収集は、環境事業所への申し込みが必要です。



3 障害のある方の生活を応援します。

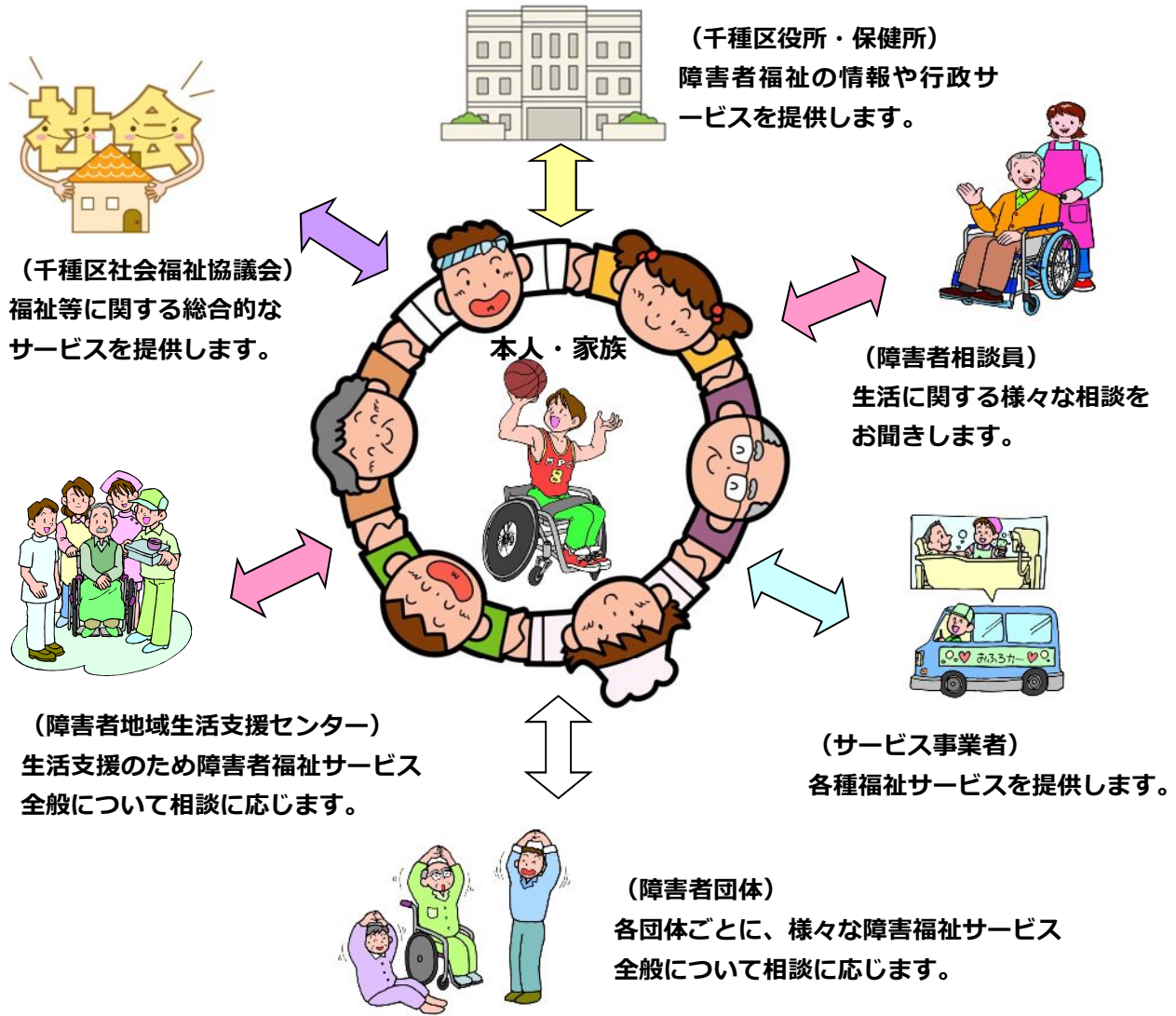
(1) 障害のある方とその家族の支援

障害者地域生活支援センターやサービス事業者などと連携して、「障害者地域自立支援協議会[※]」の活動を充実し、障害のある方の生活を支援します。
(福祉課 753-1845)
(社会福祉協議会 763-1531)

※「障害者地域自立支援協議会」とは？

区役所・保健所、福祉サービス事業者、障害者団体等で構成され、地域における相談支援事業やネットワーク構築を目的として活動しています。

障害のある方やその家族を支援するしくみ



(2) 障害のある方の自立支援

目標：授産施設製品のカタログ2,000部製作、配布

「障害者地域自立支援協議会」との協働により、授産施設製品のカタログや、区内の福祉施設、病院などを掲載した「福祉マップ」を作成して配布するなど、障害のある方が自立するための支援を実施します。
(福祉課 753-1845)

4 地域における健康づくりを応援します。

(1) 自主的な健康づくり活動の推進

目標：講座のべ参加者数120名 参加者による地域での健康づくり活動
実践率60%以上（22年度講習会のべ参加者数107名、実践率42%）

保健委員を対象に健康増進に関する実践的な講習会を開催することにより、地域における健康づくりリーダーを育成し、地域ぐるみで自主的な健康づくり活動に取り組めるように支援します。
(保健予防課 753-1982)

(2) 健康づくりを啓発する機会の拡大

目標：イベント参加6回以上、講演・相談実施回数20回以上、参加者満足度100%（22年度イベント参加6回、相談実施19回、満足度96%）

地域の方々が多く集まるイベントや施設に、医師、保健師、栄養士、歯科衛生士が積極的に出向き、健康診断や健康チェックを実施することにより、幅広い年齢層の方への健康に対する意識の向上、知識の普及を図ります。
(保健予防課 753-1982)



東山動物園で行った出張健康診断

区内には、「千種区史跡散策路」として5つのコースがあります。健康づくりを兼ねて、散策してみませんか！
コース図は、千種区のホームページからダウンロードできます。

<http://www.city.nagoya.jp/ku/chikusa> [千種区](#) > [千種区の魅力](#) > [千種区のまちめぐり](#)

> 千種区：史跡散策路

①	古井の里と丸山村めぐり (6.0km)
②	千種公園とみずのみちめぐり (7.0km)
③	覚王山・四谷名刹めぐり (5.5km)
④	山口街道と民俗史跡めぐり (6.0km)
⑤	平和公園文化人墓碑めぐり (4.0km)

(例) ②千種公園とみずのみちめぐり(7.0km)



1 - II 安全で安心して暮らせるまちづくりを すすめます

大規模災害に備えて、地域ごとに防災訓練などが行われていますが、区民一人ひとりの防災意識を高め、各自の備え（自助）、住民同士の助け合い（共助）、行政の支援（公助）を更に充実させていくことが重要です。

また、住宅への侵入盗や自転車の事故などが増加しているため、住民・警察署・区役所が連携して防犯意識と交通安全意識の向上に取り組むことが重要です。

1 地域ぐるみで防災力を高めます。

(1) 防災訓練の実施

目標：全15学区で実施（22年度10学区で実施）

災害に強いまちづくりを推進するため、「千種区総合防災訓練」を9月4日（日）に春岡小学校で実施するとともに、区民との協働により各学区において防災訓練を実施します。また、社会福祉協議会や災害ボランティア団体と連携した「災害ボランティアセンター[※]」の設置訓練も実施します。

（総務課 753-1811）

（消防署 764-0119）



22年度は、大規模災害を想定した総合防災訓練を千種公園で行いました。

※「災害ボランティアセンター」とは？

ボランティアの受け入れや被災者のニーズにあわせてボランティアを派遣するなどの調整を行い、ボランティア活動が円滑に行えるように支援するための拠点です。

(2) 防災リーダーの育成※**目標：未実施学区の解消(22年度8学区で実施)**

災害が起きた時に、地域で中心的な役割を担う防災リーダーの育成を目的とした「防災リーダー育成講習会」を実施します。

(総務課 753-1811)

(消防署 764-0119)



防災リーダー育成講習会

※「防災リーダーの育成」とは？

災害が起きた時に、まず何をするかなど基本的な行動の把握や、また防災訓練の計画を立案して実施するなど、中心的な役割を担うことができるように、講習会などを実施することにより育成します。

(3) 助け合いの仕組みづくり※

災害が起きた時に、少しでも早くお互いの安否確認や避難支援、救出ができるよう「千種区助け合いの仕組みづくり」を大和学区でモデル実施し、検証をしながら拡大をめざします。

(総務課 753-1811)

(消防署 764-0119)



※「助け合いの仕組み」とは？

災害時に安否確認や救助、避難誘導などの支援が必要な高齢者や障害者などを把握し、誰がどのように支援するかなどを話し合っておき、訓練を通して日頃から備えておく仕組みです。

(4) 町内会・自治会への加入促進

地域の防災力をはじめとする安心・安全で快適なまちづくりを進めるために、自主的な地域活動を行っている町内会・自治会の活動を広報なごや区版やリーフレットなどにより紹介し、加入を促進します。

(まちづくり推進室 753-1821)



(5) 大規模地震への備え

住宅都市局耐震化支援室や千種消防署、千種区社会福祉協議会、災害ボランティア団体などと連携し、無料耐震診断の促進や防災意識の啓発等を行います。

また、大規模地震を想定した研修や訓練を行うことで、職員が災害時に適切かつ迅速に対応できる体制を整えます。

(総務課 753-1811)



いざというときに備えて、避難経路を確認しておきましょう。

避難所マップ、地震マップ、洪水・内水ハザードマップ、徒歩帰宅支援マップは、千種区のホームページからダウンロードできます。

<http://www.city.nagoya.jp/ku/chikusa> [千種区](#) > [千種区の暮らしの情報](#) > [安心・安全で快適なまちづくり](#)

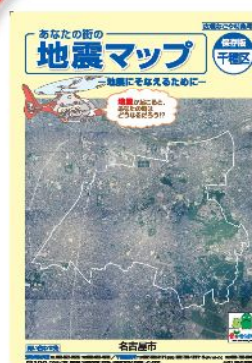
> 防災マップのページ



避難所マップ

避難所マップは、避難所、避難場所、土砂災害危険箇所などの情報を掲載した地図です。

大雨、地震などの災害時には、災害の状況に対応し避難してください。



地震マップ

地震マップは、「東海・東南海連動地震」による震度、液状化危険度についての予想結果を示しています。

いざという時に備え、避難場所や対処方法を、家族や近所で話し合っておきましょう。



洪水・内水ハザードマップ

洪水・内水ハザードマップは、河川のはん濫による浸水や、大雨による浸水が予想される地域を示しています。

また、避難に役立つ情報や災害時に備えるための情報が載っています。



徒歩帰宅支援マップ

徒歩帰宅支援マップは、警戒宣言時に公共機関の停止により、帰宅が困難となる方に対する徒歩帰宅を支援するため、トイレ提供等の支援を行う徒歩帰宅支援ステーションの位置や主要帰宅経路等を掲載したものです。

2 区民の防犯意識を高め、区民による防犯活動を支援します。

(1) 防犯活動の推進

目標：犯罪発生件数7%減(22年中3,249件)

ひったくりの発生しやすい場所などを重点に、地域の自主防犯組織などと連携して防犯パトロールを行うとともに、「犯罪情報メールマガジン[※]」を活用し、犯罪被害にあわないよう女性や高齢者を対象とした啓発に取り組みます。

また、薄暮や夜間における空き巣や車上ねらいなどの犯罪を防止するため、各家庭の門灯等を点灯するなど地域全体で防犯意識を高めていきます。

(まちづくり推進室 753-1821)

(千種警察署 753-0110)



青色回転灯装備車

※「犯罪情報メールマガジン」とは？

携帯電話やパソコンでタイムリーな犯罪情報をいち早くキャッチし、未然に犯罪被害を防止するため、千種防犯協議会が発信しています。

登録を希望される方は、お名前、学区名を記入のうえ、下記アドレスへ空メールを送信してください。

Chikusa-boukyou@alto.ocn.ne.jp

(2) 自転車の盗難防止

目標：自転車盗難件数10%減(22年中697件)

5月26日、11月26日を「ツーロックの日」と定めるとともに、鍵のツーロックや防犯登録など自転車の盗難防止対策をすすめます。

(まちづくり推進室 753-1821)

(千種警察署 753-0110)



自転車のツーロック

3 子どもたちが健全に育つよう応援します。

(1) 子どもの見守り活動

目標：引き続き全15学区で行うとともに、年3回以上非行防止パトロールを実施

学区連絡協議会※や関係団体による登下校時の声かけなど、子どもの見守り活動をすすめるとともに、青少年の非行防止のため、繁華街や人が集まりやすい場所において、パトロールや啓発活動を行います。
(まちづくり推進室 753-1826)



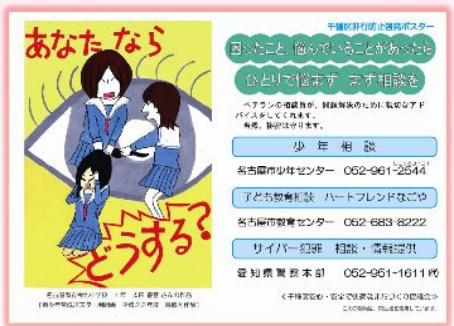
高見小学校での活動

※「学区連絡協議会」とは？
学区内の区政協力委員、民生委員、保健委員、女性会、老人クラブなどで構成しています。
住民相互の交流と連帯を図りながら運営され、様々な地域活動を行っています。

(2) 小中学生の健全育成

目標：引き続き全小中学校で実施

小中学生を対象に、自分の身を守ることの必要性や命の大切さを理解させ、非行防止等につなげていきます。
(まちづくり推進室 753-1826)



(千種警察署 753-0110)

22年度千種区非行防止啓発ポスター

(3) 「千種区子ども安心週間」の創設

目標：全15学区で実施

夏と冬の年2回、新たに「千種区子ども安心週間」を設け、区内全域で、交通安全や防犯の観点も含めて青少年の健全育成に取り組みます。また、学区で行われる活動を支援します。
(まちづくり推進室 753-1821)



22年度夏の青少年をまもる運動
街頭キャンペーン

4 高齢者や自転車利用者に対する交通安全の取り組みを強化します。

(1) 高齢者や自転車利用者の事故の減少

目標：引き続き全15学区で取り組みを実施

高齢者交通安全週間（9月14日～20日）を中心に、学区連絡協議会、老人クラブなどと協力し、夜間の反射材の着用や安全な横断歩道の渡り方などを呼びかけます。また、危険な走行などによる自転車事故を減らすため、駅周辺などで自転車の安全な乗り方を記載したイエローカードを交付するなど、マナーアップや安全運転を呼びかけます。

（まちづくり推進室 753-1821）

（千種警察署 753-0110）



高齢者交通安全啓発事業

(2) 交通安全教室の開催

目標：引き続き全小学校で実施するとともに、新たに保育園、幼稚園2園で実施

学区連絡協議会などと連携し、子どもから高齢者までの各世代に応じた参加体験型で、実践的な交通安全教室を各地域で開催します。

（まちづくり推進室 753-1821）

（千種警察署 753-0110）



保育園で行われた交通安全教室

(3) 交通事故多発交差点における事故防止啓発活動

目標：交通事故多発交差点でのキャンペーンを4回実施

交差点付近での死亡事故が増加していることから、地域団体、事業者などと協力し、飲酒運転の根絶や、シートベルト・チャイルドシート着用の徹底などの啓発を行います。

（まちづくり推進室 753-1821）

（千種警察署 753-0110）



事故防止キャンペーン